

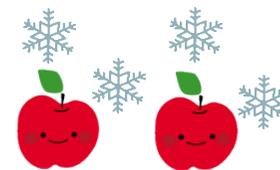
今日もたべた？本ごはん

とうごうしょうがっこう とうしょかん 2017. 12月号

めざせ100さつ!



12月の詩



りんご
りんご
りんご
まっかなりんご
どこからきた
てんからきた
しんしん しんしん
ゆきときた

まど・みちお
りんご

りんご
りんご
まっかなりんご
めをとじて
めにみえる
しんしん しんしん
ゆきのくに



木枯らしふきすさぶ頃



12月22日は“冬至”です。『冬至のゆず湯に入ると無病息災』といわれ、夜

はゆず湯に入ります。かぼちゃや小豆がゆを食べる風習も有名で、かぼちゃを食

べると魔よけになり、風邪などをひかないといわれています。

今年も残すところあと1ヶ月となりました。2017年もしめくくりです。今年

はどんな本にであいましたか？お気に入りの一冊、心に残る一冊をみつけることができたでしょうか？

“ブックリスト”は12月6日までです。心に残る1冊を見つけてくださいね。

冬休みもこたつで本といっしょに冬ごもりもいいですね♪



お知らせ

図書室お休みの日：1・9日・22日の午後～1月8日まで

2学期の本の貸し出しは **12月6日(水)まで** です。

2学期に借りた本は **12月8日(金)午前中までに** 返してください。

※12月7日(木)～15日(金)までは本の貸し出しはできません。

冬休み前の本の貸し出しは、18日、19日、20日です。

ひとり **5さつ**

※3学期は、1月9日(火)から図書室で皆さんを待っています!



★冬至

1年でいちばん昼が短く、夜が長い日です。それからは、少しずつ昼の時間が長くなっていきます。むかしから冬至は「太陽がよみがえる日」と信じられていました。冬至にむかって、日は短くなっていきますが、むかしの人は「太陽の力が弱くなる時、人間の魂もおとろえる」と考えていたのです。しかし、「冬至をすぎれば太陽はよみがえり、人間の魂にも精気もどってくる」とされました。そこで、この季節に旬のかぼちゃやあずきなどを食べて力を回復し、冬至をのりこえようとした習慣が、今も残っているようです。冬至に「ん」のつくものを食べると幸運になる、といういい伝えがあります。

・なんきん(かぼちゃ)・だいこん・にんじん・ぎんなん・こんぶ・こんにやく



ほん

12月 おすすめの本

こんげつ ☆ 今月はクリスマスの本を紹介し★
 お家の方も子どもといっしょに読んでみませんか？

この あたたかい よろこびを あなたにも とどけたい…



『ゆきの まちかどに』
 ケイト・ディカミロ 著 ポプラ社
 少女フランシスは、オルガンひきの老人が凍てつくような道ばたで小猿とともに夜を明かすことを知り、心をいためます。クリスマスの日、フランシスは自分が天使役で出る劇をみに来てほしいと老人を教会へとさそいますが…。
 心があたたかくなるクリスマスの物語。

ゆきの日にすてられたこねこの運命は—



『こねことサンタクロース』
 ユッタ・ゴアシリューター 文 ひくまの出版
 雪の日にすてられた黒いこねこ。やさしいサンタクロースにひろわれて、サンタクロースといっしょにプレゼントをまっている子どもたちの家まわります。サンタさんは子どもたちのところをぜんぶまわりおわったら、こねこのあたらしい家をさがそうと約束してくれますが—。
 スイス生まれのクリスマス絵本です。

ほんもののおほしさがすてきなクリスマスをとどけます！



『ローラのクリスマス』
 クラウス・バウムガート 文・絵 西村書店
 ローラは第のトミーとクリスマスをととても楽しみにしています。でもおもいがけない車のトラブルで、マルタおばさんのパーティーに行けなくなってしまいます。ローラが空にまたたく星に話しかけると…
 いい考えが！
 すてきなクリスマスがおとずれる予感のする絵本♪

サンタさんのほんとのきもち、知りたくありませんか？



『さみしがりやのサンタさん』
 内田麟太郎 作 沢田としき 絵 岩崎書店
 世界中の子どもたちにプレゼントをくばり、やっと自分の家に帰ってきたサンタさん。「あしたになったら…どのこもどのこも とびあがるぞ…」すると、ほろりとなみだがこぼれました。どうして楽しいはずなのに…こんなにさみしいのでしょうか？そこへドンドンと戸をたたく音がして—



『おたすけこびとのクリスマス』
 なかがわちひろ 文/3世・ジュツ 絵/徳間書店
 クリスマスの夜。大切な仕事をたのまれたこびとたちのチームは、はたらく車の列をつくって、夜の町を走っていきます。さあ、どこへ行くのかな…？そして、仕事をたのんだのは、だあれ？？画面のすみすみまで楽しめる、楽しさいっぱいの絵本☆

親子で読んで
 みてください！

